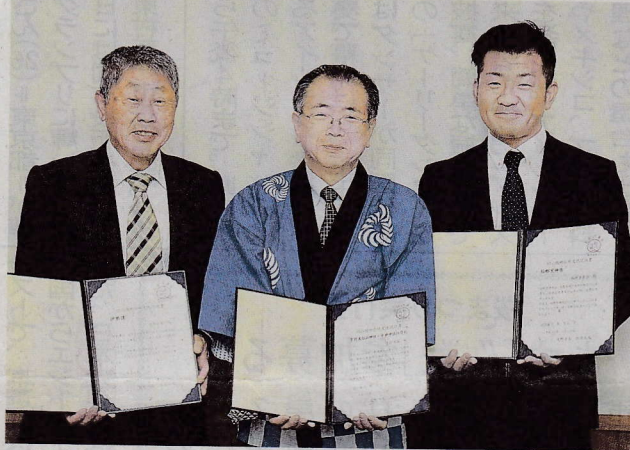


伊勢講など「遺産」に

大野市 文化継承へ3件追加

大野市は22日、次世代への継承が必要な風習や文化などを伝統文化として認証する「結の故郷伝統文化 おおの遺産」に、同市土布子の伊勢講など3件を追加した。集人口減少が進む中、集



新たにおおの遺産に認証された三つの区、団体の代表者＝22日、大野市役所

落に根付く文化継承団体を応援しようと昨年度から制度を取り入れ、初年度は七間朝市など11件を認証。22日は本年度認証として▽伊勢講(土布子)▽下打波白山神社・中神

野が誇る貴重な文化遺産に根付く文化継承団体の代表に認証書を手渡した。審査委員会長の門井直哉福井大教授は講評で「住民が当たり前のよう

神社の祭礼(下打波)▽稲郷里神楽(稲郷)の3件が加わった。後継者の育成や保存活動に補助金が贈られる。

この日の交付式では、松田公二教育長が「末永く伝承活動に尽力いただきたい」と述べ、各団体の代表に認証書を手渡した。審査委員会長の門井直哉福井大教授は講評で「住民が当たり前のよう

に続いているものは大野が誇る貴重な文化遺産に根付く文化継承団体の代表に認証書を手渡した。審査委員会長の門井直哉福井大教授は講評で「住民が当たり前のよう

は、各代表者から人口減少や転居などにより継承方法に悩む声が上がった。

(栗原愛)